昭和52年5月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行
山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㊹・〒754—12
印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報 あじす

№.306

町の住民登録人口
(52年4月30日現在)　前月比
世帯　2,143世帯　+8
人口　8.266人　+18
(男3.899人　女4.367人)
(国勢調査　昭和50年10月1日
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男3.771人　女4.366人

開会式でグランドに勢揃いの各チーム

競い楽しんだ健康ひろば

町制三十周年町民運動会　参加者数も新記録

町制三十周年を記念した第三十一回町民運動会は四月二十四日、早朝から曇り空の下、体力つくりをめざす町民約三千人が参加、阿知須中学校グランドで熱戦が展開されました。

競技は唯もが参加できるようゲーム競技を多く取り入れ、老人から子どもまで出場できる・健康ひろば・となりました。

競技を五種目残して、あいにく雨となりましたが、早朝からの参加者は二千八百七十八人（入場行進時の集計数）で町民の三五%となり、一世帯から一人半参加したことになり、いままでにない記録でした。

チーム別の参加者数は前山チームがトップで六四%の参加、続いて赤浜チームの五一・七%。前山チームは四十七年から入場行進の得点の対象になって以来六年間トップを続けています。

昼食後は町制三十周年にちなんで初めて仮装大会が組まれました。戦後の引揚者、農機具の移り変り、皇太子ご夫妻の来町、山口港の開港など町制三十年の歴史をふり返った仮装が多く各チームのくふうがうかがえました。

総合では寺浜チームが優勝し三年連続優勝を飾りました。続いて昨年最下位の玉川チームが準優勝と健闘しました。

〔総合成績〕①寺浜66点②玉川54点③小古郷49点④赤浜⑤岩倉、旦岡⑦縄田⑧鴨生原、引野⑨飛沖砂郷⑪東条⑫中西⑬河内、源河、前山

〔入場行進〕①前山（六四・二%）②赤浜（五一・七%）③中西、飛沖④寺浜⑤河内源河、玉川、縄田小古郷

〔仮装行列〕①寺浜②玉川③引野④岩倉

阿知須町制施行30周年記念町民運動会
寺浜チーム

写真（上）入場行進（中）走れちびっこのスタート（下）二人三脚リレー（上左）仮装行列

田村さんら四人

社会体育功労者で表彰

町体育協会は四月二十四日、町民運動会の開会式で体育功労者四人を表彰しました。

いずれも社会体育振興に功績があったと区長、体育協会から推薦された人たちです。

受賞者は次のとおり（敬称略）

◇区長推薦▽荒井隆昭（四〇）杖川・農協職員▽沖永一夫（三六）小西・床波ガラス店▽田中冨佐子（五四）前山・主婦

◇体育協会推薦▽田村三正（六二）浜・農業

（写真は表彰を受ける功労者、左から田中、沖永、田村荒井さん）

お知らせ

妊婦学級開設

申込み五月二十三日まで

町では健康な赤ちゃんを生み、育てるための教養講座として、次のとおり妊婦学級を開講します。

一コース四回。係では多数の受講を望んでいます。

日時―五月二十六日から毎週木曜日四回、時間は午後一時三十分から三時三十分まで

場所―町役場

対象―町内に住む妊婦、新婚、結婚前の女性

講義内容―妊婦の心得、妊娠中の生理衛生、分娩の準備と経過、妊産婦体操、家族計画身体の洗い方、映画など

申込み―五月二十三日（火）までに地区母子保健推進委員か町住民課岡田保健婦（有線二二三二、電話四一一一）へ。

河川の清掃は今月二十九日

四十七年から毎年続けている川や海岸の清掃を今年も町ぐるみの運動として五月二十九日（雨天の場合は無期延期）に実施することになりました。

清掃区域は昨年同様井関川と土路石川、それに海岸です。

担当区域は町内会ごとに割当てます。区長さんの指示に従ってください。

雨期を控えての災害防止と美しい郷土をみんなで守り育てていくための共同作業です。ご協力をお願いします。

犬猫の墓を建立

町では岡山に犬・猫の墓「顕彰」を建立しました。

これは、環境衛生の立場から家庭で飼われている犬や猫が死んだ場合、火葬してその中に収めるものです。

ご希望の方、詳細を知りたい方は町厚生課におたずねください。

名物十七夜祭は六月四日に

恒例の十七夜祭は六月四日(土)に行われます。

当日の主な行事は三日が前夜祭四日は山車、近郷柔剣道大会、子ども相撲大会、夜に入ると花火大会（夜七時半・井関川尻）管絃船が予定されています。

山車は小古郷が担当です。

歩け歩け大会

希望者は阿知須駅へ集合!!

15日、駅→岡山→温泉

町教育委員会はウベニチ新聞社と共催で「歩け歩け大会」をつぎの要領で開催します。町内から多数の参加を望んでいます。

日時　五月十五日　午前九時三十分阿知須駅前に集合。

コース　駅前→岡山墓地公園→宇部ゴルフ観光ホテル裏山まで約五キロ

その他　雨天中止、弁当は各自

警察官を募集

県警察本部では警察官を募集しています。

▽受験資格―昭和二十四年十月二日から昭和三十年四月一日までに生まれた大学卒業の男子

▽受付け―五月九日から六月四日まで

待遇、その他詳しくは警察署か派出所へおたずねください。

自衛官募集

自衛隊ではつぎの要領で自衛官（二士）を募集しています。

▽応募資格―十八歳以上二十五歳未満の男子

▽志願手続―志願票の請求は町役場、または自衛隊山口地方連絡部宇部出張所（宇部新川駅前松島ビル二階）

▽試験期日・場所―志願票交付または受付けの際、知らされる。

なお、身長一五五㌢以上で胸囲体重は身長に相応し、視力〇・六以上、眼鏡をかけて〇・八以上。

詳細は町役場か自衛隊宇部出張所へ。

裁判所が家事相談

山口家庭裁判所では夫婦、親子相続、その他家庭内、親族間のいろいろな問題について相談を行なっています。

相談はすべて無料で、秘密は固く守られますので最寄りの裁判所へ遠慮なく気軽にご利用ください

山口家庭裁判所（山口市・駅通り電話山口②―一三三〇）

山口家庭裁判所宇部支部（宇部市琴芝町・電話宇部②一―三二九七）

◎相談の日時　休祭日をのぞき毎日午前九時から午後四時まで。土曜日は午前九時から十二時まで。

ぼくの学校　わたしの学校

〔阿知須小学校〕
8〜9日　六年修学旅行
12日　参観日（学級懇談）
22日　参観日（バレー大会）
23日　郡教研総会

〔井関小〕
9日　一〜五年社会見学旅行
10日　レントゲン検査
11日　体重測定
16日　眼科検診
19〜20日　六年修学旅行
23日　日本脳炎予防注射
25〜27日　検便

〔阿知須中〕
7日　二年社会見学
9日　男子体重測定
10日　女子体重測定
12日　学年集金、中間テスト範囲発表
13日　三年修学旅行
16〜18日　一年合宿指導
23〜24日　中間テスト
25日　貯金、簡易保険納入日
31日　参観日

善意はここに

〔社会福祉協議会〕

◇香典返し▽三万円＝田中茂生さん（浜表）は父勇治さんの〔町へ〕

◇一般寄付▽三万円＝神屋節子さん（北祝・「ゆず」経営）は砂郷保育園の児童保育に役立ててほしいと▽三万円＝古谷博さん（引野）は父佐之助さんの香典返しとして子どもの健全育成のために。▽五万円＝いのうえ美容室（北祝・井上香代子さん経営）は五月一日の開店三周年記念として児童福祉のために▽辻永広美・百合子さん（東京都在住・岩辻出身）は結婚記念に植樹代として

◇広報紙送料▽三千円＝田中辰雄さん（静岡県御殿場市川島田六一五・浜出身）縄村節子さん（東京都江戸川区平井三の一八の二・砂二出身）▽二千円＝石川満さん（奈良市東紀寺町一丁目三一の三〇三・北祝出身）

5月のメモ

9日　婦人学級「体力テスト」（前9時半・阿中体育館）
10日　育児相談　（後1時半）
11日　幼児学級　（後1時半）
12日　幼児交通指導　（前9時・岩倉保・松陰保・カントリー幼）
13日　心配ごと相談　（前10時）
陶芸教室　（後1時半・阿中）
幼児交通指導　（前9時・阿知須幼・砂合保）
17日　幼児相談　（後1時）
あじのす大学　（後1時半）
18日　ポリオ生ワク投与　（後1時半）
19日　栄養教室　（前10時）
20日　園芸教室　（後1時半）
成人病検診　（胃がん・前8時半）
〔会場の記入のないものは役場〕

5月の納税

○国民健康保険税

あなたの趣味・特技をどうぞ

公民館が〝人材開発銀行〟計画

町公民館では町内在住者の趣味や特技など調べて「人材開発銀行」を発足させる計画を進めています。

この計画は町民生活にうるおいと生きがいをもたらすために、町民が持っている生活の知恵や技術を出し合い、交換し合って、世のため人のために役立てていこうというものです。

まずは、町内各戸に「人材相互開発個人カード」を配り、自分の特技やこれから学びたいものなど書いてもらい、それを集計して、社会教育活動に活用したいとしています。

それには①特技、趣味（十六ミリ映写、珠算、アマ無線、レタリング、着付など）②伝承文化（石木像、竹細工、染めもの、薬草の識別、魚釣・手品など）③スポーツ（水泳、空手、ローラースケート、フォークダンス、サイクリング、サッカーなど）などに分けられています。

若者たちの新しい技術や知識、また、古くから伝えられてきた生活様式、風俗など知っている人を探し出し、その人に、各種の学級講座の講師、助言、グループのリーダーなどになってもらい、人を伸ばし、地域を伸ばす役割りを荷負ってもらおうというわけです。

少年・老人教育を担当

新たに社教指導員が着任

久弘指導員

社会教育の振興充実を一層進めるため、四月から社会教育指導員として久弘竹治さん（山口市佐山・五九歳）が町教育委員会に配属されました。

社会教育指導員は住民の多種多様にわたる学習要求を満たすため国、県、市町村がそれぞれ三分の一ずつ人件費を出し合って配属しているものです。

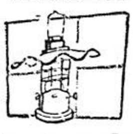
久弘指導員は昭和十三年豊浦郡粟野小教諭を振り出しに、去る三月、防府大道小教頭を退職するまで三十九年間教員生活を続けてきました。

教育委員会では子ども会や老人学級など少年、高齢者教育を担当します。趣味は絵画、盆栽。アルコール類は一滴も飲ないとのこと。

着任に当って

「社会教育の中の少年教育、高齢者教育等のお世話をおおせつかりました。早く仕事をのみこんでみなさまのお役に立ちたいと思っています。よろしくお願いします」と語っています。

町史編さん室だより⑬



近世の開作

今回からしばらく開作について述べることとする。

近世は新田の開発が盛んに行われた時期であった。その隆盛期は近世初期・中期、また中期以降ともいわれているが、新田開発の進められた要因として次の点があげられる。つまり人口の増加にともなう食糧の確保、年貢増徴をねらった財政策、さらには財力を貯えた町人の新田開発への投資がそれである。新田開発は地域によってその名称が異なり、長州藩の場合これを開作（かいさく）といった開作はその形態において藩営開作・家来拝領開作・百姓自力開作に区別される。このうち、家来拝領開作、百姓自力開作は、干潟・原野等、開作可能な土地を見立てて藩府に願い出、地下支りなき場合に開作を認可された。

地下支りの吟味は地下尋のうえ行なわれたが、その結果は必ずしも開作主の意のままにはならなかった。安政三年に平岡政八郎が井関村銭ケ原において開作地を見立てて地下尋を行い開発を拒否されたのはその例で、湯野河内頭谷筋に開作地を開くことは砂の流出を招き大変に迷惑する。あるいは、人家近くの山野下草刈取りの場所を開立することは百姓が迷惑する。井関村はとりわけ山野薄地の所柄であり、草下木刈取りに困窮し、田畠の経営に支障をきたすので開作は認めないでほしいというものであった。

52年度農業労働標準賃金表

（阿知須町農業委員会）
10 *a* ＝ 1 反

種別	賃金	増率	備考
春田耕起ツク代（平すき）	5,000　10 *a*	3 *a* 以下 2割増	
5月耕転機　ツク代	7,700　〃	〃	
秋田耕転機〃（うねたて）	5,500　〃	〃	
特殊田　（深田）	8,800　〃	〃	
畑耕起（うねたて）	6,000　〃	〃	
田植え	4,000		7時～18時（休けい含む）
平常雇	男3,100　女2,500		
脱穀	5,000　10 *a*		
ハイベスター	7,000　〃		わら切　脱穀
農繁期雇	男4,000　女3,300		
カッター代	4,500　10 *a*		手伝付
防除代金	〃　1,200		1回につきホース使用は800円
バインダー	7,500　〃		ヒモは機械もち
コンバイン	〃　14,500	3 *a* 以下 2割増	まわり刈は耕作者が行う
育苗・機械植	13,000　〃	〃	機械植 5,000

全部昨年と同額です

納税一〇〇％は三十一組合

昨年度の納税成績

町では毎年優良納税組合を表彰し、その成績に応じて報奨金を贈っていますが、今年も納税成績により報奨金を贈りました。

成績は四十二組合のうち三十一組合が一〇〇％でした。全体の納税率は九九・三七％で昨年よりやや下っています。

納税成績一〇〇％というのは地区の全世帯が納税組合に入り、しかも完納しているということです

成績はつぎのとおりです。

〔一〇〇％〕

小東、小西、前山、恵比須、東、縄南、縄北、中村、寺河内、浜、砂一、砂二、砂三、飛石、沖の原、岩辻、岩上、旦東、旦北、門松、岡、浜表、赤迫、井関、杖川、源河、向井関、引野、仙在、青畑、漁業組合

〔一〇〇％未満〕

小南、北祝、南祝、築地、西条、岩西、岩前、岩西前、旦西、野口
河内

団体の新役員

今年度の各団体の新役員が決まりました。正副会長はつぎのとおり。（○印会長）

阿知須小学校ＰＴＡ
○弘中　得男（築地）
水本　孝士（縄南）
河村　豊子（南祝）

井関小学校ＰＴＡ
○沢田　隆夫（源河）
中村　優照（旦東）
古谷　嘉子（引野）

阿知須中学校育友会
○真重　章（中村）
酒井　好孝（南祝）
木原　妙子（旦東）

阿知須婦人会
○門出　清子（東）
天野　延子（縄北）
中村　玲子（〃）

井関婦人会
○重田　政江（旦東）
伊藤アユミ（源河）
古谷アヤ子（赤迫）

阿知須青年団
○市川　潔（砂二）
兼重　学（砂三）
辻下　弘美（岩辻）

阿知須子ども会育成連絡協議会
○片山　宥賢（河内）
釈野　憲章（引野）
井本　鶴代（南祝）

阿知須青年同志会
○松浦　有朋（砂三）
上野以志夫（縄南）
原田　清（北祝）

老人クラブ連合会
○徳田　真秀（円松）
磯中　正雄（西条）
上野　義香（岩上）

防犯連絡所指導員会
○河村　豊（恵比須）
岡田　歳一（縄北）
古川　良雄（野口）

少年相談員
河村　豊（恵比須）
平海　武二（小西）
中礼　三郎（砂二）
古川　良雄（野口）

ことしの区長さん

今年度の各区長はつぎのとおりです。数字は四月一日世帯数

小東	安永　秀吉	三一
小西	平海　武二	七二
小南	縄重　幾義	七八
前山	市原　稔	七四
北祝	高野　義一	五四
南祝	松本　隆夫	九〇
恵比須	縄田　正明	六四
築地	安永　倶治	五八
東	蔵谷　寛	五七
縄南	縄田　智	八九
縄北	真重　博	六七
中村	上野　義明	三九
西条	礒金　芳治	六五
寺河内	竹田　寛作	五一
浜	吉田　英二	九〇
砂一	礒金　明二	五四
砂二	西村　誠一	四八
砂三	上村　定雄	一三〇
飛石	末永　辰男	八九
沖の原	西村　美隆	四四
岩西	田辺　敏彦	三二
岩前	上重　美紀	五〇
岩西前	徳永　勝	三八
岩辻	中野　勇	五六
岩上	岡本　正之	三六
旦東	森崎　保	三四
旦西	古川　好治	二四
旦北	深野　秀雄	四八
門松	竹重　貞男	三九
岡	兼重　隆	二九
浜表	松崎　隆	六〇
赤迫	渡辺　辰男	四〇
井関	福冨　新治	三六
野口	野村　清次	四四
杖川	丸山　哲男	二六
河内	辻村　文男	四八
源河	森重　政一	四〇
向井関	国重　信行	二六
引野	広橋　正芳	五〇
仙在	溝部　忠雄	二四
青畑	小林　正夫	八
焼野	石川　勇	三

五月十日から〝愛鳥週間〟

みんなで野鳥によい環境を

五月十日から十六日までの一週間は愛鳥週間です。

新緑が映えるこの季節は、森から流れる野鳥のさえずりが私たちの心に潤いとなごみを与えてくれるばかりでなく、野鳥は多くの害虫を退治して、森や農作物を守ってくれます。

しかし、こうした野鳥も、年とともに生活の場を奪われ、次第にその姿を見せなくなっています。

野鳥の生活できる自然環境を私たちの手でつくりましょう。

特に本町は〝花とみどりと野鳥のふるさと〟をキャッチ・フレーズにしていますが、野鳥は安心して住めるところ、環境のよいところを選びます。したがって野鳥に住みよいところは人間にとっても住みよいところといえます。それだけに、野鳥のための環境づくりは私たちの環境づくりともなるのです。

印紙税の税額変更

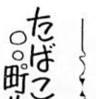
今月から五十円が百円に

印紙税の税額が五月一日から改められました。

印紙は「契約書」「手形」「委任状」「領収書」などの文書に文書をつくった人が、定められた金額の収入印紙をはりつけ、これに消印をして納める税金です。

今回の改正により、五月一日以降に作成された文書の印紙税額、たとえば五十円の印紙をはっていた文書は、すべて百円に。契約書判取帳などに課税されている文書の税率は、それぞれ二倍になりました。

印紙税のかかる文書にはいろいろの種類のものがあり、また、同じ種類の文書であっても、その文書に記載される金額によって、印紙税の税額が異りますから、文書をつくる際には間違いのないようによく注意しましょう。



新広報委員に

藤井儀一さん

今年度の町広報委員に平海武二（小西・漁業・再）真重章（中村商業・再）藤井儀一（岡・農協職員・新）の三氏が決りました。

役場の課長・室長らと広報活動について指導・助言・計画等に参画いただくことになっています。

お気づきがあればこの方々にお申し出ください。

役場の窓

◆・町民運動会は朝から雨雲がたれさがったあいにくの天候でしたが参加者の熱気で午後三時半頃まで持ち越しました。

各種競技とも熱戦が展開されましたが、中でも小学生男女が出場した「なわとび」競技で最後まで残った五人のうち四人までが井関小の児童でした。井関小では昨年から体力つくり推進指定校の指定を受けて、業間運動になわとびなどを取り入れた成果だと学校では評価しています。

◆・ことしの四月は近年にない雨が多かったような感じですが、四月中の降雨量だけみると、降雨時間は昨年と同じの八十一時間、降雨量はことしが僅か一ミリ多かっただけでした。つまり、役場に備えている雨量計によるとことしは二百十七ミリ、去年は二百十六ミリで、共に八十一時間降ったように記録されています。

一昨年は二百八ミリで九十五時間降っているので、毎年〝菜種つゆ〟の現象は同じようにくり返されているようです。

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
井本豊幸	長女	康子	3・25	岡
高野一年	二女	佳代子	3・26	沖の原
保田厚志	長男	和幸	3・28	砂三
石丸英雄	長男	敦史	4・1	岩西
下野博文	長女	尚子	4・2	岩前
福永正吉	長男	健二	4・2	砂三
國平　徹	長男	環	4・3	南祝
中野　茂	長男	哲成	4・12	小西
國清美智夫	長女	由美	4・13	源河
江本公太郎	二女	園子	4・15	前山
江本公太郎	長男	周平	4・15	前山
松永松夫	長男	伸夫	4・16	引野
礒部辰夫	長女	千晴	4・18	仙在
山田宏昂	二男	好一	4・19	前山

婚姻（おしあわせに）

坂津久志	宇部市東岐波
和江（大崎）	飛石
石川　守	北祝
和子（久保）	大島郡久賀町
諏訪俊雄	前山
節子（渡辺）	大阪市
西山幸雄	源河
由美子（花田）	福岡県直方市
森冨博志	縄田北
千代美（岡野）	防府市
辻永直美	岩辻
百合子（岡崎）	引野
縄田　豊	東
恵子（滝山）	小野田市
田中達夫	山口市
久美子（大田）	引野
西田哲夫	砂三
ちかこ（田中）	宇部市
浜西一雄	北祝
正子（広瀬）	宇部市
赤松俊二	宇部市
依子（辻岡）	縄田南
橋口九州男	埼玉県幸手町
和子（山田）	小南
片岡　悟	岡山県倉敷市
信子（西村）	寺河内
藤本晴夫	砂三
典子（和田）	広島市
徳永雅雄	岩辻
朋子（縄田）	宇部市西岐波
中原峰人（伊藤）	旦東
京子	南祝

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	月日	年令	部落
徳永　房夫	4・18	64	岩辻

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

浜　正司　ウメノ
剣先の如き菖蒲の若芽出づ花思いつつ油粕を撒く

小東　松尾　君代
風邪癒えて浸しし潮湯全身の血はめぐりきて赤くほてりぬ

飛石　藤重　幾代
窓ぎわに置きて朝夕心寄せし瓶のなづなは徒長しはじむ

飛石　砂村ヤス子
縫いものをやめて炊事婦の職につき永く使ひ来しへら台しまふ

砂三　渡辺　宮子
気軽にも入試に行きし娘の残す梅茶をひとり厨に含む

小西　徳本　喜一
ばあちゃんはいびきかきおり無心なる児の寝顔みて吾も眠らむ

砂一　松代　二郎
職退きて一週間を過ぎし今朝友訪ねると自転車磨く

砂三　桜井　文子
指をそめ庭より採りしふきの葉は醤油に合いてほろにがき味

源河　村井　薫
夫と子のシャツもつれ合ひ逆巻くを見つつ安けし泡立つ槽に

小西　平海アサノ
飼ひなれし三毛猫親子は背を丸め吾が足元にもぐりてねむる

小西　藤重アヤ子
お彼岸の岡山墓地に人しげく香焼く煙ゆらぐそこここ

砂三　浜崎　恒子
桜咲く香山園に立ちよりて抹茶たのみて友を待ち居り

浜　石田サダ子
解しきれぬ言葉一つを思ひるる窓下に夕べの湯気のぼりくる

北祝　原田　双恵
絵本にて知れるブルトーザ幼らは見つける毎に車中に声あぐ

岩西　中本　幸枝
再発の身を侘しみつのぞみかけ血管撮影の台に臥しおり

砂三　藤永ミツノ
里はみな彼岸桜の咲きけるに西鳳便に雪ぞ残れる

河内　礒中　忠一
はらはらと散りゆく桜花ふと淋し海鳴り聞こゆ黄昏の丘